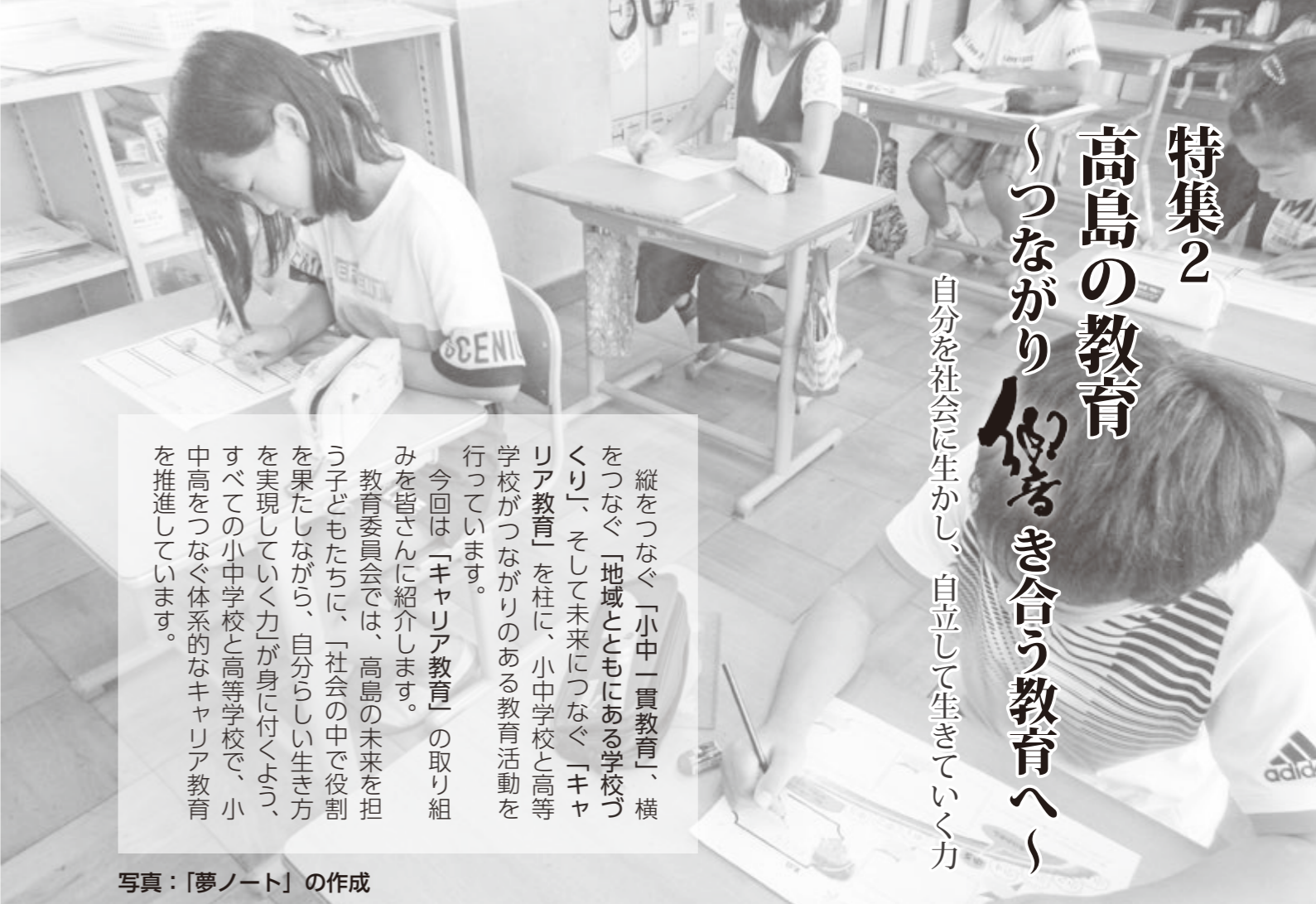


高島の教育

「つながり」を軸に「働き合おう教育へ」

自分を社会に生かし、自立して生きていく力



縦をつなぐ「小中一貫教育」、横をつなぐ「地域とともにある学校づくり」、そして未来につなぐ「キャリア教育」を柱に、小中学校と高等学校がつながりのある教育活動を行っています。

今回は「キャリア教育」の取り組みを皆さんに紹介します。

教育委員会では、高島の未来を担う子どもたちに、「社会の中で役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく力」が身に付くよう、すべての小中学校と高等学校で、小中高をつなぐ体系的なキャリア教育を推進しています。

写真：「夢ノート」の作成

高島の環境や身近な仕事へ関心を持ち、また、地域の大人や異年齢集団と触れ合いを深めるため、体験学習をしています。

- ▼社会見学
- ▼地域学習
- ▼異年齢交流



小学校でのキャリア授業

社会見学では、地域の施設や事業所を訪問し、働いておられる方との触れ合いを深めています。異学年交流や縦割り活動では、思いやりやリーダー性を養っています。将来の夢や学びの記録を残し、次の学年に引き継いでいく取り組みも行っています。

新しいことに挑戦し、失敗しても粘り強く取り組む力を育てていきます。

高島の魅力や課題について考え発信するために、地域でのさまざまな活動に参加しています。

- ▼職場体験・マナー講座
- ▼先輩や地域の人との語る会
- ▼進路学習



一流のおもてなしを学ぶ

職場体験へ行く前に、高島屋の新人研修担当者によるマナー講座で、一流のおもてなしを学びます。これまでに、市内200以上の事業所でお世話になり、働く意義について考えています。

さまざまな取り組みを通して、自分の役割や生き方・働き方などを考える力を育てています。

自立への「道」をへる

現代の子どもたちは、テレビやゲーム、インターネットなど、さまざまな情報があふれる中で育っています。そのため、情報や流行には敏感ですが、自分で道を切り拓くための原動力となる実体験や生活体験が不足しているといわれています。

そこで、小中学校では、豊かな自然を生かした体験活動に取り組み、郷土の自然や歴史を学んだり、課題や魅力を考えたりする活動を行っています。

また、他学年の仲間や園児との触れ合いから、自分の新たな一面



朽木地域で間伐体験

高校生の視点やアイデアを生かして、さまざまな活動に参画しています。

- ▼職業人たちとの対話
- ▼就業体験・大学との連携
- ▼調査研究・進路先調査



職業人との対話

「Work Life Story Expo」として、市内の多くの職業人と対話する機会もっています。

また、地元の事業所に協力をいただきながら開発した商品を高島屋などで販売しています。

これらの体験を通して、自立して生きていく力を育てています。



地元の老舗料理屋で職場体験

に気付いたり、多くの大人との触れ合いから、多様な生き方や価値観を学んだりしています。

このようにして、子どもたちは、自らの学びのプロセスを記録に残し、9年間の積み上げをしています。そして、学んだことや感じたことをもとに、自分自身の生き方について、大切に考えることができるようになります。

教室で学習していることが、普段の生活や社会につながっていることに気付くような授業を行い、子どもたちの向上心を高めます。これらが、子どもたちの学びに向かう力を高め、生きる力を育むことにつながり、将来への「道しるべ」になると考えています。



地元の事業所での社会見学

地域を愛し、地域に貢献する子どもに

「小中高をつなぐキャリア教育」を推進し、地元の魅力やさまざまな働き方について考え、自分自身を社会に生かし、自立して生きていく力を育てていきます。

さらに、地域に対する愛着を深め、地域に貢献する子どもたちを育てられるよう取り組みを進めていきます。今後も地域の皆様のご協力をお願いします。

図 学校教育課

☎ (25) 85662